

はじめに

- ・ 第2次素案については改善の基本的な方向性について賛同をえられたと思われるが、時間もなかったため細部の検討や表現について、さらに十分な検討が必要である。
- ・ 11月12日に地域教育会議推進協議会会長名による提言がだされており、それを盛り込むための新たな検討が必要である。
- ・ 他部会とのすりあわせのための調整が必要である。
- ・ 以上の点をふまえて、重点施策と施策体系についての意見を詳細にわたって求めたいので、11月21日の専門部会までに各自の意見をまとめていただくよう、依頼します。以下に私からの検討課題を提示させていただきます。

1 重点施策1

- ・ 背景・目的に「子どもの権利条例の趣旨」をふまえる
- ・ 内容の家庭教育学級を「地域の子育ての視点」で、もっと幅広く位置づける
- ・ 重点施策1の表現をさらに練る

2 重点施策2

- ・ 背景・目的に「地域教育会議の活動の意義」を加える
- ・ 内容に「学校教育推進会議と地域教育会議の連携」を示す
- ・ 展開する事業 に「地域教育会議の位置づけ」を加筆

3 重点施策3

- ・ 背景・目的に「社会教育関係職員、地域教育関係スタッフ、NPO/ボランティア等の市民活動の担い手の研修」を加筆
- ・ 同様に内容にもそれを加筆
- ・ 事業 に同上の具体化を加筆

4 重点施策4

- ・ タイトルを「地域に開かれた学校づくりの推進」などソフト面をふくむ表現とする
- ・ 背景・目的、内容の双方に「地域教育会議」の位置づけを明記
- ・ 地域教育サポーターの意義・役割は何かを明確化する必要がある

5 重点施策5

- ・ タイトルにパンチがないということなので、「生涯学習をつうじてのまちづくり」など生涯学習都市宣言の方向性を考えてはどうか。従来からさらに何を改革するのかの視点をだす。
- ・ 内容に「全市的な市民教育の体系的推進」を加える
- ・ もその趣旨をより明確にし、アカデミーなどの拡充の方向を示唆する

6 重点施策6

- ・ タイトルがあいまいなので、「分権と市民の参画による教育行政の推進」などの趣旨で表現を変更
- ・ 事業 と の関係について、内容をより具体的に明確にする

(以上)